

## 学校経営推進費 評価報告書（最終）

### 1. 事業計画の概要

<b>実施課程名</b>	大阪府立難波支援学校
<b>取り組む課題</b>	生徒の自立支援
<b>評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講堂を活用した交流行事、イベント等に対する児童生徒、保護者、参加者の満足度</li> <li>・ 講堂（交流、研修等）の活用実績回数</li> </ul>
<b>計画名</b>	「なんば・なにわホール（仮称）」 すまいるプロジェクト事業

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

<b>学校経営計画の 中期的目標</b>	<p>3 児童生徒が、仲間とつながり、地域の人々とともに生きていく喜びを実感する</p> <p>（1）本校の講堂（約 1,000 席）等を活用し、地域（小中学校、高等学校等を含む）との交流の機会拡大を図る。</p> <p>ア 交流校の開拓及び内容を深める。交流校数を昨年度より増やす。（昨年度 7 校）具体的な内容として、文化的行事を交流及び共同学習の中核に位置づける。参加児童生徒及び教員の肯定的評価を 80%以上にする。</p> <p>ウ 地域の指導者を招き、地域の伝統的な皮革産業及び伝統的な太鼓演奏を学び、体感する機会を創出する。</p>
<b>事業目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校講堂（市民ホールに匹敵する施設）を地域に愛される学校づくりのシンボリックな施設と位置付ける。</li> <li>・ 子どもたちが、全国的にも知られている地域の産業である皮革、太鼓を体感できる場、発信する場とする。</li> <li>・ 豊かな地域・他校交流の場とし、子どもたちが地域で自立した生活を送るための基盤づくりとする。</li> <li>・ 府立学校の共有財産として、研修会や合同説明会等に活用いただくことで、大阪府全体の教育活動に貢献する。</li> </ul> <p>* 満足度アンケート、活用回数等を成果指標とし、行事、年度ごとの検証をふまえ、活用内容等を深化させる。</p>
<b>整備した 設備・物品</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講堂の整備及び環境対策</li> <li>・ 舞台照明機器（老朽化により不安定な状況）の整備</li> </ul>
<b>取組みの 主担・実施者</b>	主担：教頭      実施者：首席
<b>本年度の 取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月に開催した「難波支援学校 60 周年記念式典」において、児童・生徒が教員の助力を得ながらも、音響装置及び舞台照明を活用して「本校の歩み」について、趣向を凝らした舞台発表を行うことができた。また、式典第 2 部では PTA とも協力して浪速区ゆかりのメジャーバンドによる演奏、合唱による校歌斉唱を行い、効果的な舞台照明により、記念式典を盛大に挙行することができた。</li> <li>・ 前年に引き続き、12 月に開催した「なんば・なにわ祭」では、効果的な舞台照明のもとで、子どもたちの生き生きとした発表を保護者に届けることができ、充実した内容とすることができた。また、PTA コーラスなど PTA 等との連携の充実に寄与した。</li> <li>・ なにわ高等支援学校との合同和太鼓の実演や大阪市内保育所が講堂を使用して交流会（和太鼓演奏の鑑賞会）を行った際には、本校の児童生徒も鑑賞する機会を得るなど、音と光</li> </ul>

	<p>の効果的な演出により、より質の高い演奏に触れる機会を得るとともに、伝統的な太鼓演奏を学び、体感する機会を確保することができた。</p>
<p><b>成果の検証方法 と評価指標</b></p>	<p>① 講堂活用交流校：4校 ② 「すまいるホール」の周知 ③ 安定的な講堂活用に向けた使用規定、指針等の作成</p>
<p><b>自己評価</b></p>	<p>① 講堂活用交流校：4校…………… (○) ② 60周年記念式典における「(仮称)すまいるホール」活用…………… (○) ③ ホールの使用規定を検討(原案の周知)…………… (△)</p> <p>本事業の評価指標として掲げた「講堂を活用した交流行事、イベント等に対する児童生徒、保護者、参加者の満足度」は、教育自己診断の結果、肯定的回答率が93.1%と非常に高い結果であった。また講堂の活用例としては、教育庁及び教育センター主催の研修会や各種説明会、地域の交流行事である和太鼓演奏会等がある。本校主催の地域校との交流行事を含めると、活用回数は、H29年度は3回、H30年度は5回、R1年度は7回であった。そのうち何回かは本校高等部生徒が受付を務めたこともあり、障がい理解を深める貴重な機会となっている。各方面からの問い合わせがあり、今後も活用される機会は増加するものと思われる。</p>
<p><b>事業のまとめ</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を実施して3年めの「なんば・なにわ祭」では多くの保護者から肯定的な意見を得ており、照明の改修効果は、舞台発表に向けた指導スキルの向上とあいまって舞台発表の充実に大きく貢献している。</li> <li>・令和元年11月に開催した60周年記念式典では、正式に「すまいるホール」の名称を使用して、児童・生徒のこれまでの活動成果を発表する場所・空間としての役割を十分に果たしたものと自負している。</li> <li>・今後、市内保育所の交流会のような本校以外の方への活用機会を増やすよう、手続き等の整備を努める中で、今年度果たせなかった活用規定の策定を図っていくとともに、ホームページ等での発信に努めたい。</li> </ul>